

KENWOOD

CD プレーヤー

DPF-3030

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



本機の特徴

音質と安定性を追求した先進技術の搭載

- 微小レベルでのひずみを飛躍的に改善する D.R.I.V.E. (Dynamic Resolution Intensive Vector Enhancement) IC を搭載。
ダイナミック レゾリューション インテンシブ ベクター エンフアンスメント
- 24ビット分解能を高性能で実現する 1ビット D/A コンバーターの採用。

CDをテープにダビングするときに便利な機能を搭載

- ひずみの少ない録音レベルを決めることができる CD ピークサーチ。
- テープの時間によって、音楽が途切れないよう組合せができるエディット機能。
- オートスペース機能。

イージーオペレーション

- システムコントロール接続によって他機種との動作が可能になるイージーオペレーション機能。
- CDプレーヤーのほとんどの操作が手元でできるリモートコントロール。

目次

▲ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

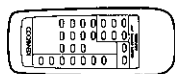
▲ 安全上のご注意	3
知っておきましょう	7
接続のしかた	8
各部のなまえと働き	10
リモコンの使いかた	11
CDを聴く (TRACKモード)	12
1曲目から順に聴く	12
OUTPUT端子とヘッドホン端子の出力レベル調整について	13
曲順を自由にプログラムする (PGMモード)	14
プログラムの確認や、変更するには	15
曲を追加するには	15
プログラムした曲を取り消すには	15

繰り返し聴く (リピート再生)	16
選んだ曲だけを繰り返すには	16
ディスク全体を繰り返すには	17
編集のしかた	18
編集した内容を確かめる	19
編集した内容を取り消す	19
ピークサーチとは	19
順番にこだわらずに聴く (ランダム再生)	20
タイマー再生のしかた	21
故障と思われる症状ですが・・・	22
定格	23
保証とアフターサービス	24

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロール
ユニット(1個)



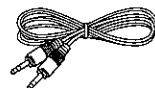
リモコン用単3乾電池(2個)



オーディオコード(1個)



システムコントロールコード(1本)



安全上のご注意

※このページは、地震や火災が原因となる場合、
と使用前によくお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般について
の内容を記載しています。

(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害



警告

安全上の注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しない



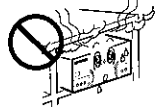
この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

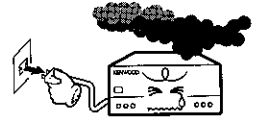
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
 - 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。
- 通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグは清潔に



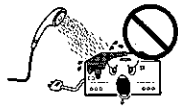
電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください



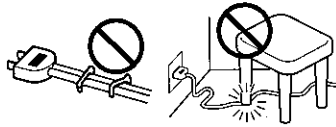
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない



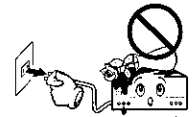
機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



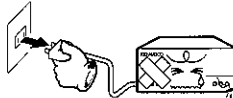
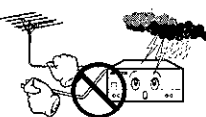

内部に水や異物などがに入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



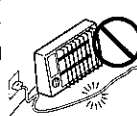
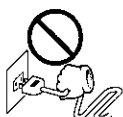

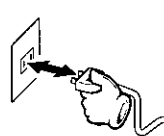


電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。




警告

<p>落下した機器は使わない</p> <p>機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> 	<p>電池は放置しない</p> <p>電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。 電池をあやまって飲み込むおそれがあります。 万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。</p>
<p>雷が鳴り始めたら</p> <p>アンテナ線や電源プラグには触れないでください。 感電の原因となります。</p> 	<p>乾電池は充電しない</p> <p>乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。</p> 


注意

<p>電源コードを熱器具に近付けない</p> <p>電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> 	<p>電源プラグの抜き差しは</p> <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。</p>
<p>不安定な場所には置かない</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> 	<p>電源プラグは、根元まで差し込んで</p> <p>ゆるみがあるコンセントに接続しないでください。 発熱して火災の原因となることがあります。 販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p> 
<p>湿気やほこりのある場所に置かない</p> <p>油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。</p> 	<p>電源プラグはコンセントに</p> <p>根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。</p> 
<p>温度の高い場所には置かない</p> <p>窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> 	<p>長期間使用しないときは</p> <p>旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因となることがあります。</p> 


指定以外のコードを使わない

 関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。


指定機器以外の物を乗せない

 この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。


アンテナ工事

 アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。


機器に乗らない

 この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。


指をはさまない

 お子様がかセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。指がはさまれて、けがの原因となることがあります。


レーザー光源はのぞかない

 レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起すことがあります。


ひび割れディスクは使わない

 ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。


音量に気をつけて

 はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は


 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。


電池の取扱い

 電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+とマイナス"-の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。


お手入れの際は

 お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

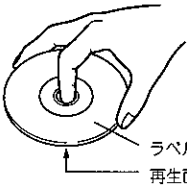
 3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

知っておきましょう

本機で使用できるディスクについて

DVD (12cm, 8cm)、CD (12cm, 8cm)、VCDおよびCDVとCD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクラベル面に  のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

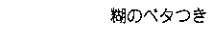
ディスク取扱上のご注意



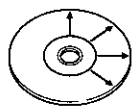
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形、破損させることがあります。

結露にご注意

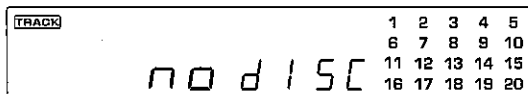
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. ディスクを入れないで電源をONにします。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. 数秒待って、電源をOFFにします。



ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

接続のしかた

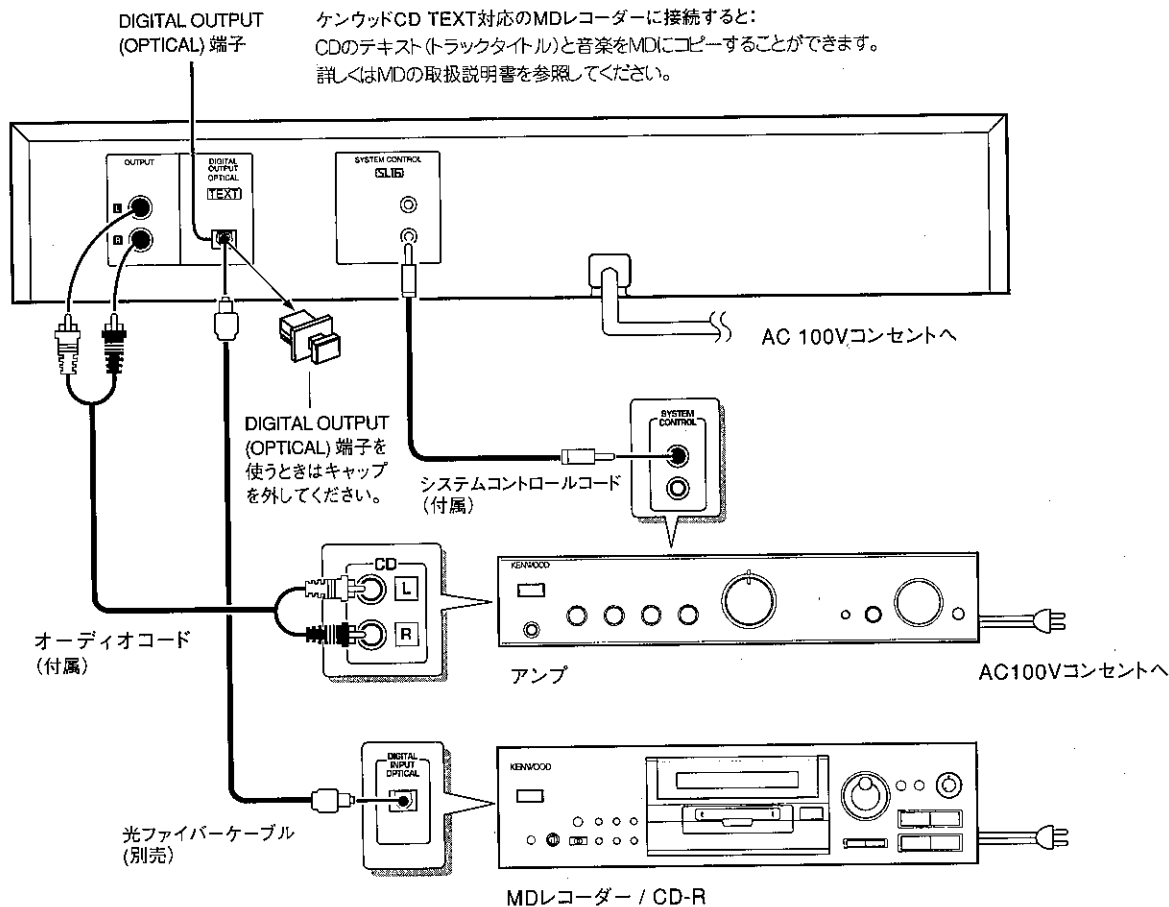
注意 接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続をするときは下図のように行ってください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。

-22-



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音がでなくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

光ファイバーケーブル(別売)の接続について

MDLレコーダー(別売)、CD-R(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

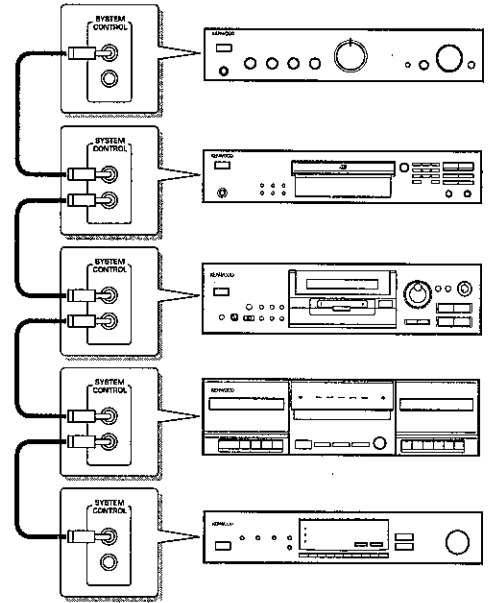
- 光ファイバーはまっすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。



システムコントロール接続

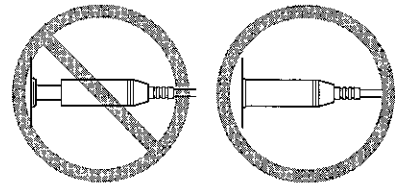
ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

本機は[SL16]モード専用です。
[XS 8]のモードで接続されているとコントロールできません。



システムコントロールの接続は、ACコンセントを抜いて、すべての接続を完了してから行ってください。

1. アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
2. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
3. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。



システムコントロール動作について

リモートコントロール

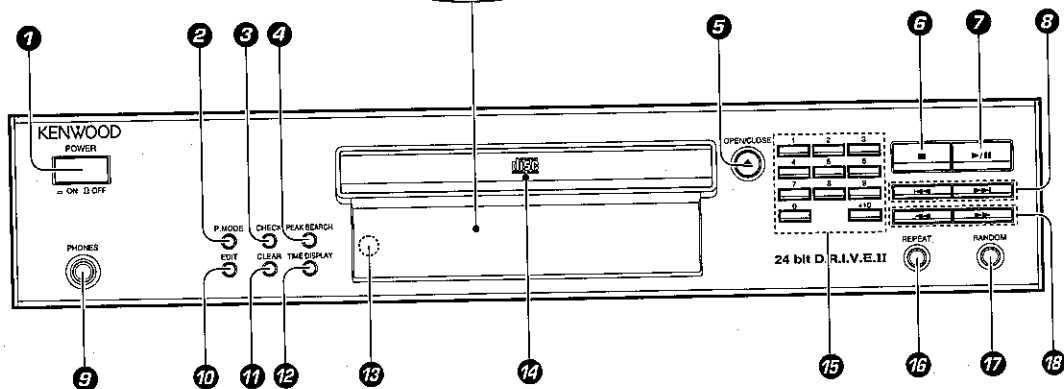
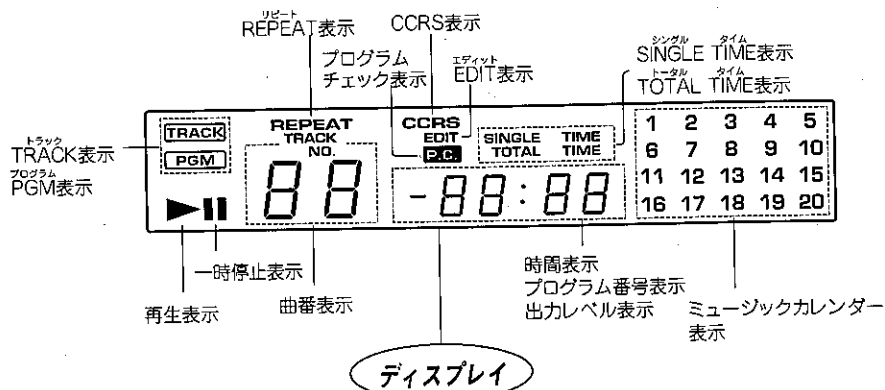
アンプまたはレシーバーに付属しているシステムリモコンで、本機を操作することができます。

イージーオペレーション

本機の再生を始めると、アンプまたはレシーバーの入力切換が自動的に切り換わります。

シンクロ録音

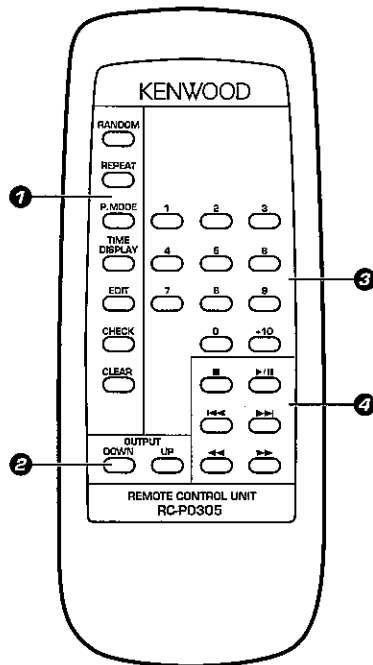
CDを録音するときに、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音をスタートすることができます。



本体と同じ名前や、記号の付いているリモコンキーは本体と同じ働きをします。

- | | | | |
|---|-----------|--|-----------|
| ① POWER スイッチ
電源をON/OFFします | - 12 | ⑮ CLEAR キー
プログラム内容を消去するときに使います。 | - 15 - 19 |
| ② P.MODE キー
曲のプログラム再生をするときに使います。 | - 14 | ⑯ TIME DISPLAY キー
時間表示を切り換えるときに押します。 | - 13 |
| ③ CHECK キー
プログラムの確認をするときに押します。 | - 15 - 19 | ⑰ リモコン受光部 | - 11 |
| ④ PEAK SEARCH キー
CDの最大録音レベルを検出します。 | - 19 | ⑱ CDトレイ
CDをセットします。 | - 12 |
| ⑤ ▲ キー (取り出しキー) | - 12 | ⑲ 数字キー
直接数字キーで曲を選ぶときに押します。 | - 12 |
| ⑥ STOP (■) キー | - 12 | ⑳ REPEAT キー
繰り返し再生をするときに押します。 | - 16 |
| ⑦ PLAY/PAUSE (▶/) キー
押すごとに再生と一時停止が切り換わりします。 | - 12 | ㉑ RANDOM キー
曲を順不同に再生するときに押します。 | - 20 |
| ⑧ ◀▶ キー (スキップキー) | - 13 | ㉒ ◀▶ キー (サーチキー)
早送り、早戻しするときに押します。 | - 13 |
| ⑨ PHONES ジャック
ヘッドホンを接続します。 | - 13 | | |
| ⑩ EDIT キー
エディット録音をするときに使います。 | - 16 | | |

リモコンの使いかた



各操作キーは、本体と同じ働きをします。
*印の付いたキーは、リモコンのみの機能です。

<p>① プログラム関係その他のキー</p> <ul style="list-style-type: none"> RANDOM キー → 20 REPEAT キー → 16 P.MODE キー → 14 TIME DISPLAY キー → 13 EDIT キー → 18 CHECK キー → 15 19 CLEAR キー → 15 19 	<p>*② OUTPUT (DOWN,UP) キー → 13</p> <p>③ 数字キー (1~0, +10) → 12</p> <p>④ 基本機能キー</p> <ul style="list-style-type: none"> スキップキー (◀◀▶▶▶▶) → 13 サーチキー (◀◀▶▶▶▶) → 13 停止キー (■) → 12 再生/一時停止キー (▶) → 12
---	---

型名：RC-P0305
赤外線方式

電池の入れかた

① ふたを開ける

② 電池を入れる

③ ふたを閉める

● 単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークにしたがって入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体のPOWERスイッチを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

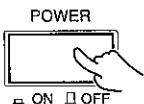
1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

CDを聴く (TRACKモード)

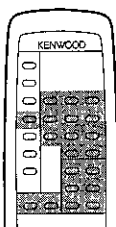
CDを1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

12

準備 電源をONにする



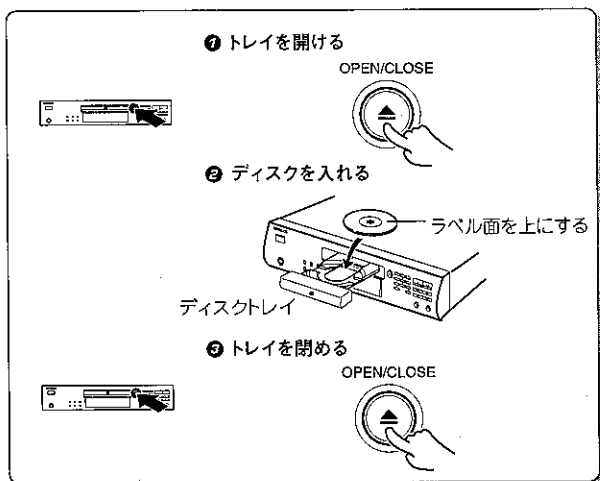
- ディスクが入っているときに、電源をONにすると自動的に再生が始まります。



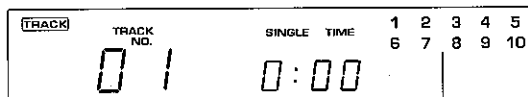
: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

1曲目から順に聴く

1 ディスクを入れる

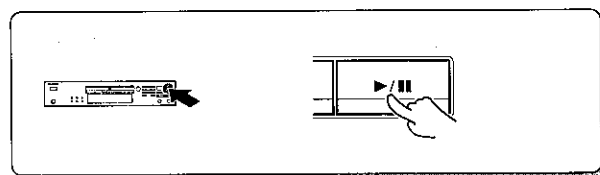


- 再生面には触れないようにします。
- ディスクは必ず1枚だけ入れます。
- ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因になります。)
- シングルCD(8cm)にも対応しています。
- 市販のシングルCD(8cm)ディスクアダプターは、本機では使用できません。



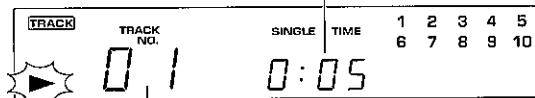
収録されている曲数を表示します。

2 再生をする



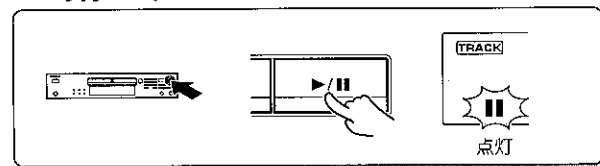
- 数秒後に、1曲目から再生します。

再生中の曲の経過時間



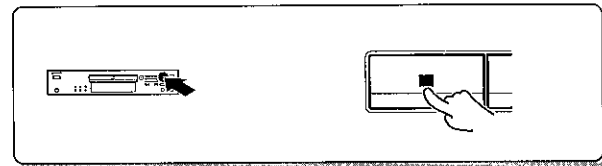
再生中の曲番号

一時停止するには

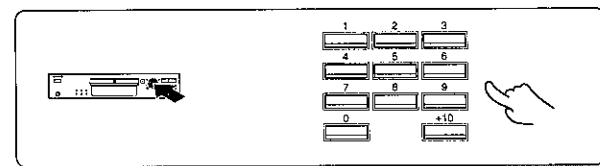


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



聴きたい曲番から再生する

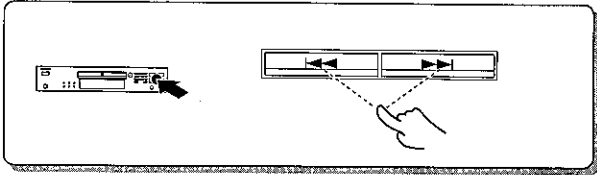


数字キーを押す順序は...

23曲目なら: **+10** **+10** **3**
40曲目なら: **+10** **+10** **+10** **+10** **0**

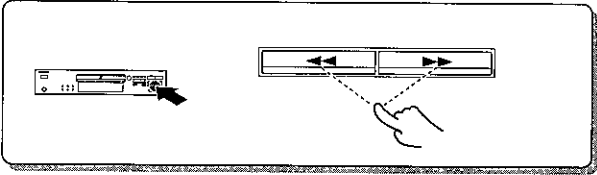
- 選んだ曲以降を再生します。

曲を飛び越すには(スキップ)



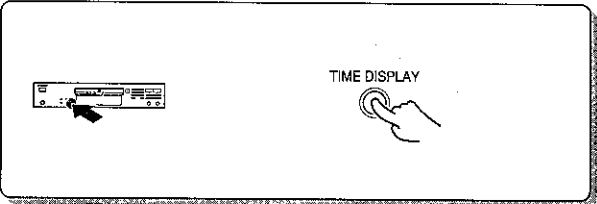
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻り、もう一度同じ曲を聴くことができます。

早送り・早戻しするには(サーチ)



- 手を離れたところから、再生します。

CD プレーヤーの時間表示について



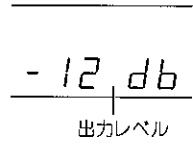
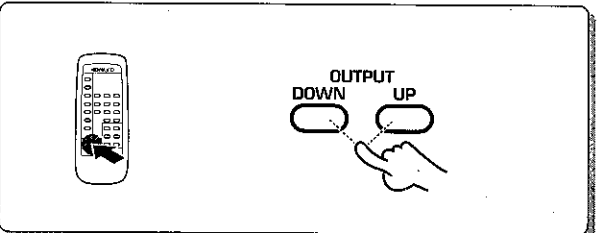
- | | | |
|---|--------|--------------|
| ① | 1:23 | :再生中の曲の経過時間 |
| ② | -2:37 | :再生中の曲の残り時間 |
| ③ | 23:45 | :ディスク全体の経過時間 |
| ④ | -35:15 | :ディスク全体の残り時間 |

● ^{ランダム}RANDOMモードと^{エディット}EDITモードのときは、①と②のみ、表示します。

アウトプット

OUTPUT端子とヘッドホン端子の出力レベル調整について

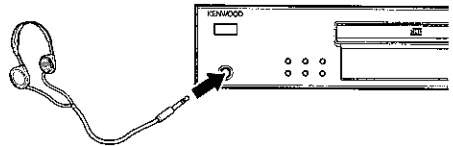
リモコンのOUTPUT (UP/DOWN) キーで本体のOUTPUT端子の出力と、PHONES端子(ヘッドホン端子)の出力レベルを調整することができます。



- 本機の出力レベル下げすぎないように注意してください。本機の出力レベルは他の機器とのレベル合わせに使用すると便利です。
- ヘッドホンレベルを調整すると、OUTPUT端子の出力レベルも同時に変化します。録音中はレベルを調整しないでください。
- 電源を入れたときは、出力レベルが最大になっていますので、ご注意ください。

ヘッドホンの使いかた

別売のヘッドホンがPHONES端子に差し込み、リモコンのOUTPUT (UP/DOWN) キーで、お好みの音量に調節してお聴きください。

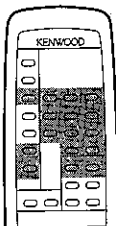


プログラム (PGMモード)

好きな曲を好きな曲順にプログラムして聴くことができます。
(最大20曲)

準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

1 プログラム “PGM”表示を点灯させる

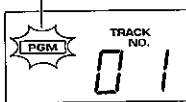
停止中に操作します。



P.MODE



点灯

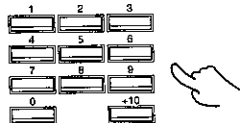


2 好みの曲をプログラムする

① 聴きたい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は...

25曲目なら: **+10** **+10** **5**



5秒以内に次の操作をしてください。

② プログラムを記憶させる



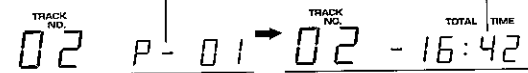
P.MODE



③ 上の①、②を繰り返しプログラムする。

選んだプログラム番号を数秒間表示

選んだ曲の合計時間の表示



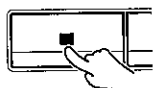
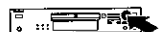
- 20曲まで選べます。“FULL”と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR**キーを押してから選びなおします。
- プログラムした内容が100分を越えると、ディスク全体の残り時間を表示しません。

3 再生する



- 再生中に◀または▶キーを押すと、プログラムした順序で、押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻り、もう一度同じ曲を聴くことができます。

再生を止めるには



- プログラムの内容は保持されています。

オートスペース機能について

カセットデッキを再生するとき便利な機能です。CDのプログラム中、曲間に数秒間の無音部分が作られます。この状態でカセットデッキに録音すれば、DPSS機能(無音部分を自動的に探す機能)を使って、テープの頭出しや、リピート再生などが確実に入ります。

- 前の曲と次の曲の演奏がつながっている場合(クラシックやライブ録音など)でも、別々の曲番号がついていれば無音部分が作られます。

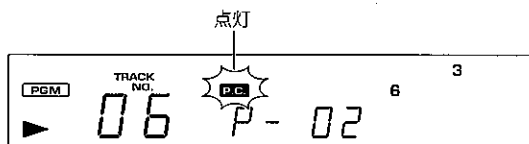
プログラムの確認や、変更をするには

① CHECKキーを押す。
CHECK
変更したい曲番が表示されるまで繰り返し押します。

② 新しい曲番を選ぶ。
数字キーを押す順序は...
25曲目なら: [+10] [+10] [5]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	+10	

③ プログラムに入力する。
P.MODE



- ①の操作だけをする、プログラム内容の確認をすることができます。
- 押すたびに、プログラムした曲順(P-NO)と、曲番を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。
- "P.C."表示の点灯中に押してください。
- 再生中の曲は変更できません。

曲を追加するには

① 追加したい曲番を選ぶ。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	+10	

② P.MODEキーを押す。
プログラムモード

- 追加したい曲番を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

最後の曲から順番に消していくとき
CLEAR

全部消すとき
P.MODE

- キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲と、それより前にプログラムされた曲は取り消せません。

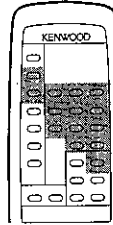
- プログラムの内容が全て消えます。
- ▲キーを押してもプログラムの内容が全て消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)

16

準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

選んだ曲だけを繰り返すには

- ① プログラムモード "P.MODE"表示を点灯させる



P.MODE

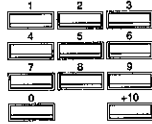
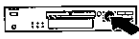


停止中に操作します。

- ② 好きな曲を選ぶ

数字キーを押す順序は...

25曲目なら: **+10 +10 5**



5秒以内に次の操作をしてください。

- ③ プログラムに入力する



P.MODE



- ④ 上の③と②の操作を繰り返し入力する。

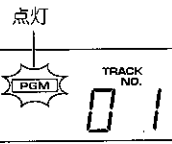
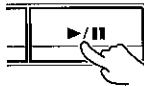
- ⑤ リピート REPEATキーを押す



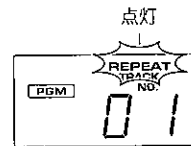
REPEAT



- ⑥ 再生する



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。
- 20曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

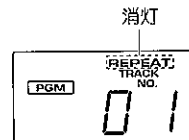


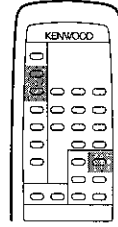
繰り返し再生をやめるには

もう一度リピート REPEATキーを押す



REPEAT







: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

ディスク全体を繰り返すには


① ^{トラック}"TRACK"表示を点灯させる




P.MODE




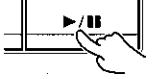
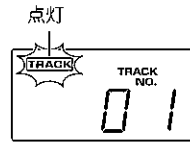
② ^{リピート} REPEATキーを押す



REPEAT




③ 再生する


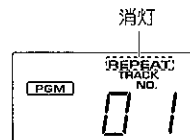




繰り返し再生をやめるには

もう一度^{リピート} REPEATキーを押す



REPEAT

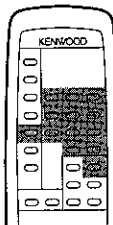




編集のしかた

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返し終端で曲がとぎれないように、自動的に曲順を入れ換えて編集します。

準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



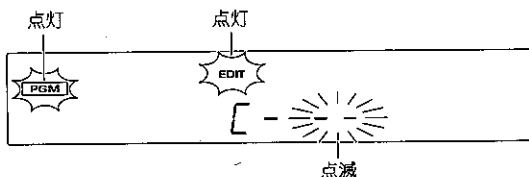
: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

1 エディット "EDIT"表示を点灯させる

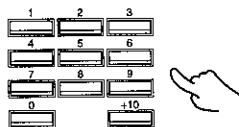
停止中に操作します。







5秒以内に次の操作をします。
5秒以上経過したときは、もう一度キーを押してください。








2 テープの長さをセットする



数字キーを押す順序は...

30分テープなら :    

46分テープなら :     

- 分単位(2桁)で99分以内の設定ができます。
- ご使用のテープと異なった設定をしますと、編集はされますが、テープに無録音部分ができたり、A面またはB面の最後の曲がとぎれたりすることがあります。

編集は次のように行われます

- (1) 設定時間が二つに分割され、まずAファイル(テープA面用)に収まるよう曲番の小さい順に曲が選択されます。
- (2) 数秒後、Aの残り時間が表示され、続いてBファイル(テープB面用)が同じように編集されます。

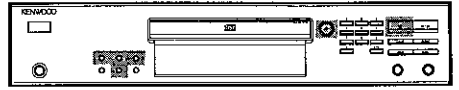
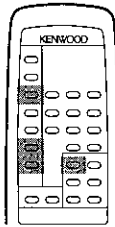
- ディスクに1曲しか収録されていないものや、クラシックなど、1つの曲番で再生時間の長いものは、編集が正しく行われません。


編集した内容を再生、または録音するには

▶/IIキーを押すと編集した内容に従って再生し、編集したB面の頭で一時停止します。続けて再生するときは、再度▶/IIキーを押します。

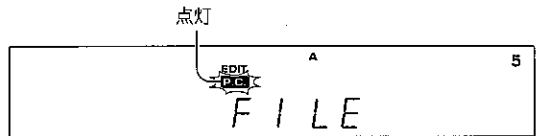
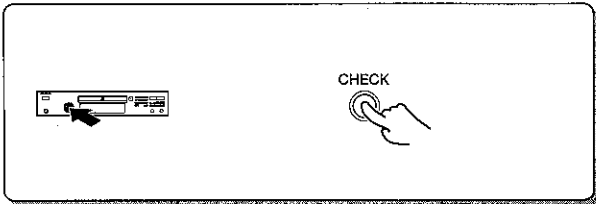
カセットデッキに録音するときは、ケンウッドのカセットデッキのシンクロ録音、CCRS録音などが便利です。

- 録音中は本機の出カレベル(OUTPUT UP/DOWNキー)を変えないようにご注意ください。
- 詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をお読みください。



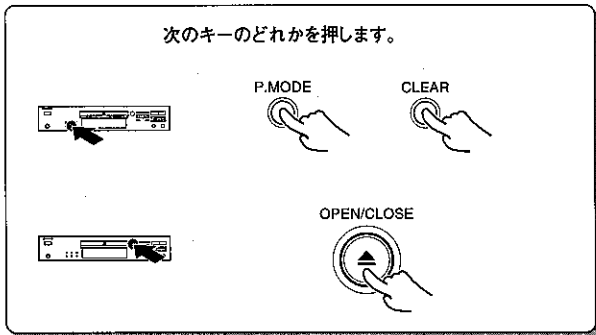
 : 使用するキー、または、つまみなどを示します。

編集した内容を確認する



- **CHECK** キーを押すと、編集された曲番が順に表示されます。
- "P.C."表示は数秒後に消灯します。

編集した内容を取り消す

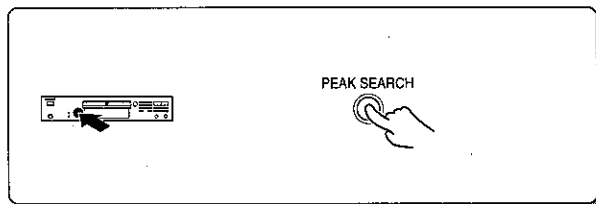


- 編集内容のすべてが消えます。

ピークサーチとは

この機能は、カセットデッキにCDの音楽ソースを録音するまえに、CDに収録されたピークレベル(最大レベル)を知ることができる機能です。本機では、CDに収録された各曲のピークレベルを検索したあと、最大のピークレベルを含む音楽の一節を繰り返し再生しますので、カセットデッキの録音レベルを簡単に合わせることができます。

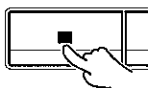
(ピークサーチ機能のあるカセットデッキとは、ピークサーチ録音はできません。)



- **PEAK SEARCH** キーを押すと、高速で全曲を検索した後、通常速度でピークレベルを繰り返します。
- ピークレベルの検索は、曲の最大レベルがある付近をサンプリングしていますが、瞬時の最大値を検出できないことがあります。CDを録音するとき、検出されたピークレベルに対して、少し余裕をもたせた録音レベルを設定してください。

ピークサーチの解除

■キーを押す



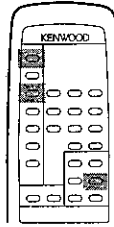
順番にこだわらずに聴く (ランダム再生)

毎回曲がランダムに(無作為に)選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

20

準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



:使用するキー、または、つまみなどを示します。

1 トラック "TRACK"表示を点灯させる

プログラム
"PGM"表示が点灯している場合は、プログラムモード
トラック
キーを押して"TRCK"表示に切り換えます。



P.MODE



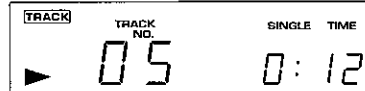
2 ランダム RANDOMキーを押す



RANDOM



曲番5が選ばれたとき



- 1曲終わると次々に曲を選び再生していきます。
- ディスクの全曲の再生が1回終わると、停止します。
- あらかじめREPEATリピートキーを押しておく、ランダム再生は繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻ります。

ランダム再生をやめるには



RANDOM



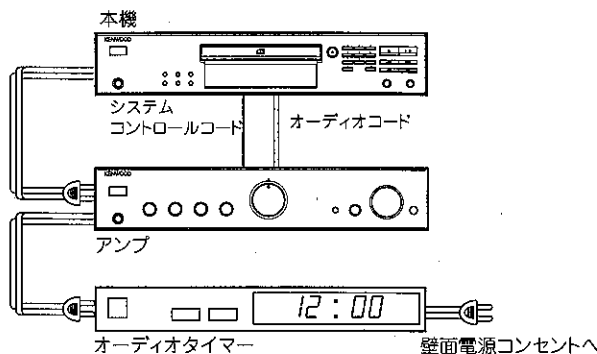
- ランダム RANDOMキーを押すと再生中の曲から、曲番順の再生に戻ります。

タイマー再生のしかた

市販のオーディオタイマーを利用して、好きな時刻にタイマー再生をすることができます。

準備

- 各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
- 使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。

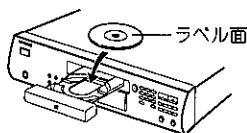


1 各機器の電源をONにする

2 準備をする

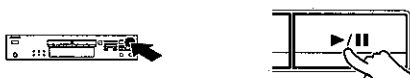
CDプレーヤーにディスクを入れる

— 12 —



3 アンプの音量を決める

① CDを再生する



② アンプの音量を調節する



③ ディスクを停止する

4 タイマー時刻を設定する

希望の時刻に本機の電源が入るようにタイマーを設定する。

5 オーディオタイマーで電源を切る

- システムコントロール接続をしていないときは、アンプの入力切り換えを"CD"に合わせます。

音量調節について:

本機の出カレベルをリモコンのUPキーで最大(0dB)にして、アンプの音量調節つまみ(VOLUME CONTROL)でお好みの音量に設定します。(本機の出カレベルをリモコンで絞ってあっても、電源が入ると、最大に戻るため、電源が入ったとき急に大きな音のでる場合があります。)

- タイマーの種類によっては、タイマー時刻を設定すると電源の切れる機種があります。そのようなときは手順②を省略します。

- 設定した時刻がくると自動的にディスクの再生が始まります。
- タイマーをセットしてあるときは、アンプや、CDプレーヤーのPOWERスイッチ(ON/STANDBYスイッチ)には触れないでください。



1. 一部のアンプには、タイマー再生に対応していないものがあります。あらかじめ動作を確認してください。
2. タイマーを用いてCDを再生するとき以外は、CDプレーヤーからディスクを取り出しておいてください。

故障と思われる症状ですが






調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには



電源がONのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

POWERスイッチをOFFにして、数秒後に改めて、ONにします。

CDプレーヤー部

症状	原因	処理
POWERスイッチをONにしても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグのさし込みが不完全。 ● アンプの連動電源コンセントに本機の電源プラグが差し込まれており、アンプの電源が切られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直す。 ● アンプの電源を入れる。
ディスクを入れても再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクがずれている。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● ディスクを正しく入れ直す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。  ● ディスクを取り換える。 ● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生状態になっていない。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 接続コードがしっかり接続されていない。 ● 出力レベルが低すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ▶/IIIキーを押す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。  ● ディスクを取り換える。 ● しっかりと接続する。 ● リモコンのOUTPUT(UP/DOWN)キーで出力レベルを調節する。 
音とびがする	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 本機に振動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。  ● ディスクを取り換える。 ● 振動のない場所に設置する。
電源を入れると再生が始まってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っているときに電源を入れると、本機は自動再生します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動再生しない場合は、電源を切る前にディスクを取り出す。

リモコン部

症状	原因	処理
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている、または障害物がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れ換える。  ● 操作範囲内で操作する。 

定格

[規格]

型式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式 非接触光学式読み取り(半導体レーザー)

[D/Aコンバーター]

D/Aコンバージョン 1ビット D/Aコンバーター(24ビット分解能)
オーバーサンプリング 8fs(352.8kHz)

[デジタルオーディオ特性]

周波数特性(EIAJ) 4 Hz~20 kHz
S/N比(EIAJ) 120 dB以上
ダイナミックレンジ 98 dB以上
全高調波ひずみ率(EIAJ) 0.003%以下(1kHz)
チャンネルセパレーション(EIAJ) 100 dB以上(1kHz)
ワウ・フラッター(EIAJ) 測定限界以下
出力レベル/インピーダンス
可変 (最大)2.0 V/0.8 k Ω
ヘッドホン出力
可変 (最大)20 mW(32 Ω)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC 100V 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) 10W
最大外形寸法 幅 440 mm
高さ 95 mm
奥行 370 mm
質量(正味) 4.3kg



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(0℃以下の)場所では、十分な性能を発揮できないことがあります。

保証書 (別途添付)

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。

(お問い合わせ先は、添付の“ケンウッドサービス網”をご覧ください)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通省産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

“故障かな?”と思ったら”に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み (有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

(大阪) 電話 (06) 6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)